

精神医学講座

原著

- 1 山田茂人：Aripiprazole の付加投与により陽性症状が改善した 1 症例—改善効果に関する薬理学的検討—。精神科 11：2，170-174，2007。
- 2 *酒見安希子，杠 岳文，山田茂人：アルコール依存の薬物治療。臨床精神医学 36：10，1249-1253，2007。
- 3 *後藤直樹，寺尾 岳，堤 隆，中野英樹，吉村玲治，楯林英晴，山田茂人，中村 純：第二世代抗精神病薬導入による精神医療の変化：大学病院。臨床精神薬理 10：43-49，2007。
- 4 渡邊 至，小島直樹，岩谷トモ子，川島敏郎，國武 裕，菅高一博，原岡一馬，立石哲也，山田茂人：在宅高齢者の「かなひろいテスト」成績の経時変化。九州神経精神医学 53：36-40，2007。
- 5 °Tsuruta T, Yang C, Ueki H, Li G, Maekawa A, Kamikawa H, Oku E, Somehara T, Fujito H, Tatebayashi H, Yamada S: Determination of Paroxetine in Human Saliva by Reversed-Phase High-Performance Liquid Chromatography with UV Detection. Jpn. J. Neuropsychopharmacol. 27: 9-12, 2007.

学会発表

国際学会

- 1 Sugataka k, Watanabe I, Muraoka T, Imamura Y, Kojima N, Yamada S: A predictive validity of the tropicamide-induced pupil dilation for Alzheimer's disease. International Psychogeriatric Association 25th Anniversary. 2007, 10, 14-18.
- 2 Watanabe I, Sugataka K, Muraoka T, Kunitake Y, Kojima N, Yamada S: Assessment of cognitive deficits in elderly subjects living in a local community using Voxel-based specific regional analysis for Alzheimer's disease (VSRAD). International Psychogeriatric Association 25th Anniversary. 2007, 10, 14-18.

全国規模の学会

- 1 石井博修：成年後見制度を利用した脳外傷による高次脳機能障害の 1 例。第27回日本精神科診断学会。2007，10，12-13。
- 2 植木裕司：うつ状態患者の唾液中 MHPG 濃度と SSRI に対する反応性。第17回日本臨床精神神経薬理学会。2007，10，3-5。
- 3 °鶴田季典：末期慢性腎不全患者に対する腎透析後の Paroxetine 治療における唾液 TDM の有用性。第17回日本臨床精神神経薬理学会。2007，10，3-5。
- 4 渡邊 至，村岡稔史，菅高一博，小島直樹，川島敏郎，立石哲也，内野 晃，山田茂人：脳 MRI 画像病変と12年後の認知機能 黒川研究。第29回日本生物学的精神医学会 第37回日本神経精神薬理学会。2007，7，11-13。

地方規模の学会

- 1 植木裕司，堤あき子，楯林英晴，山田茂人：家族，小児科医師との連携がうまくいかず治療が困難であった思春期の摂食障害の一症例。第60回九州精神神経学会 第53回九州精神保健学会。2007，11，15-16。
- 2 松永みな子，林ちづる，竹下淳子，堤あき子，山田茂人：精神障害による障害年金申請のために精

神科を受診した高次脳機能障害の1例. 第60回九州精神神経学会 第53回九州精神保健学会. 2007, 11, 15-16.

- 3 楊 春燕, 鶴田季典, 植木裕司, 松永みな子, 奥 栄作, 渡邊 至, 石川謙介, 楯林英晴, 山田茂人: うつ病患者の唾液中 Fluvoxamine 濃度測定の有用性と妥当性について. 第60回九州精神神経学会 第53回九州精神保健学会. 2007, 11, 15-16.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	山田 茂人	平成19年度科学研究費補助金	基盤研究(C)	伊万里市黒川町における老化に関する長期縦断疫学研究	2,080
助教	植木 裕司	平成19年度科学研究費補助金	若手研究(B)	客観的指標に基づく効率的, 個別的うつ病治療戦略の構築	500